



工業・福祉・デザイン連携プロジェクト「こうふくで山形」

こうふくで ミーティング vol.4

ユーモラ視点で
アイデア出し!

「こうふくで山形」は、工業×福祉×デザインが連携して、“はたらく”と“いきる”をそれぞれの視点で共有することにより、ここ山形で、みんなが幸せでいられることをデザインし、ものづくりを通してそれを実現することに取り組むプロジェクトです。

第4回目のミーティングでは、参加者が持ち寄った自社紹介や製品を題材に、異分野からの視点を活かしてアイデアを出し合い、既存製品やサービスが持つ魅力を再発見するとともに、新企画や販売促進に向けた次の一歩を考えます。どうぞお気軽にご参加ください。

令和5年3月9日(木)

○時間：13:15～16:30

○会場：山形県高度技術研究開発センター
(山形市松栄2-2-1)

○参加費：無料

○定員：15名程度

○対象：

- ・県内ものづくり企業(経営者、開発担当者等)
- ・県内障がい者福祉事業所(代表者、担当者等)
- ・県内デザイナー

申込締切

令和5年2月28日(火)

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定を変更する可能性がございますので予めご了承ください。

{ ファシリテーター }



HUMORABO(ユーモラボ)

前川雄一、亜希子によるデザインユニット。「福祉とあそぶ」をテーマに、デザイナー夫婦ならではの二つの視点で、社会と福祉の楽しく新しい関係を探っている。

{ コーディネーター }



武田和恵(やまがたアートサポートセンターら・ら・ら)
山形県山形市生まれ。2012年から、一般財団法人たんぼの家、NPO法人エイブル・アート・ジャパンの東日本復興支援プロジェクト東北事務局。2018年から、やまがたアートサポートセンターら・ら・らコーディネーターとして従事。

こうふくでミーティング vol.4

ユーモラ視点で
アイデア出し!

ここでは、誰しもが幸せに楽しく生きるためのヒントを「ユーモラ」と呼びます。

ユーモラは、HUMOR(ユーモア/おかしさ)とHUMAN(ヒューマン/人間)を組み合わせた造語。ユーモラな視点を持てば、もっと楽しい山形が見えてくる!?

工業、福祉、デザインの異分野から集まったメンバーが、“ユーモラ視点”でお互いの強みや課題、連携のアイデアを探ることで、今ある製品・サービスの魅力を再発見するとともに、業種の垣根を超えた新たな連携や市場開拓のきっかけづくりを目指します。

プログラム

1. 工福連携補助金による製品開発の成果報告

工業×福祉×デザインの3者連携で取り組んだ製品開発の成果を報告します。

2. 導入/自社紹介

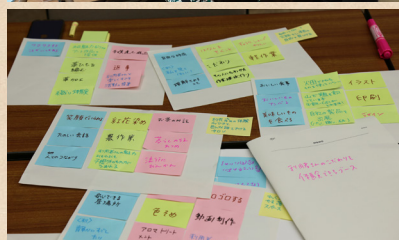
参加者で「ユーモラ」視点を共有した後に自社紹介を行い、お互いの紹介の中で気づいたユーモラポイントを付箋に書き出します。

3. 個人ワーク(アイデア出し)

組合せアイデアシートを使い、他社との連携や新商品のアイデア出しに挑戦します。

4. アイデアの共有・まとめ

アイデアシートを共有し、今後の可能性を探ります。



参加にあたってのお願い

- ・ 自社紹介では、業務内容や製品・サービス等について3分程度で紹介していただきます。
- ・ 普段作っている商品や、企業・事業所の「らしさ」が伝わるようなモノをお持ちください。福祉事業所であれば、利用者が描いた絵や事業を紹介するパンフレット等、販売していないものでも構いません。
- ・ 展示するスペースは、幅 90cm ~ 180cm × 奥行 90cm 程度を想定しています。
- ・ 展示物の内容やサイズ等について事前にお聞きしますので、ご協力をお願いします。
- ・ 展示物の持ち込み・設置は、当日の 12:30 ~ 13:00 を予定しています。詳細は参加者に別途連絡します。

お申込み

やまがたe申請システムより参加登録をお願いします。

https://s-kantan.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail.action?tempString=koufukude4



やまがたe申請システム